

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	社会福祉法人あざみ会しいのみ保育園
所在地	品川区南品川2-15-14

1 活動のテーマ

- ・異文化に触れ、友だちや地域との交流を深める。

<テーマの設定理由>

近年、盛んに行われる行事の一つで子ども達も街中で目にしするようになったハロウィン。保育園という場において、異文化の行事に触れることで子ども達なりに異文化を知り、親しみ・楽しむ機会とする。ハロウィンを通して友だちや地域との交流に繋げ、仮装や製作活動を通して創造力の育む事を探求する。

2 活動スケジュール

- 6月⇒かっぱ祭りにて地域の方と触れ合う。
- 7月・8月⇒・装飾・製作の打ち合わせ・決定
- 9月⇒・友だちと一緒にお菓子製作
 - ・絵本や写真などを通して異国のお菓子を見て、違いを感じ楽しむ
- 10月⇒・仮装した姿にいつもと違う雰囲気を楽しむ
 - ・クラスの関わり、異年齢児や地域の方など交流をもつ

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

【お菓子製作使用】

- ・ペットボトル・綿・緩衝材・リボン・シール・クレヨン・マスキングテープ・糊・はさみ・画用紙・カラーポリ・ラッピング袋・コピー用紙・折り紙・木棒・紙粘土・絵の具・輪ゴム・ラミネート・ブッカーなど
- ・準備段階として園内の装飾をし、視覚から雰囲気を楽しめるようにした。
- ・お菓子製作をするにあたり、色々な国のお菓子を画像で見て楽しんだ。
- ・馴染みある地域の方々と事前にやり取りを行い、交流を深めた。

4 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・「おばけ怖い」「おめめ大きいね」など視覚で感じたことを会話にして楽しんだ。
- ・異年齢児との関わりも深め、特に2歳児は低年齢児への声掛けや優しさも見られお友達と一緒に楽しむことができた様子だった。
- ・地域の方に声をかけてもらい、手を振ったり言葉をかわし関わりを深めた。
- ・当日は子ども、保育者共に仮装しハロウィンの雰囲気を盛り上げた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

異文化という難しいように感じたねらいも、乳児の子どもたちが楽しめるように「ハロウィン」「お菓子」という題材から入ることで「知ってる・見たことある」など身近に感じることで楽しんで参加することができた。作品作りを通して、友達や異年齢児との会話の広がりが見られ、また日頃馴染みのある地域の方々と言葉をかわし、一人ひとり手渡しでお菓子製作を貰ったことで「自分のもの・みんな同じだね」という平等な人間関係の構築や可愛がって頂いたことで人との触れ合いの温かさを味わうことができたと感じる。